


(2) 各学部の実践研究から

ア 各学部における協議

各学部では、前述の全校研究会で発表の研究授業のほか、各学部で対象とする授業について協議しました。得られたことについては、P13「成果及び今後に向けて」の項目で触れています。

イ 日常におけるエピソード

前述の事例の他、日常の生活や授業の中に、子ども達の数々のエピソードを拾い上げることができました。下記の事例は、教員を対象に実施したアンケートから一部を抜粋したものです。

学習の成果が地域での生活や活動等に生かされている事例	
<p>《地域等で生かされている》</p> <ul style="list-style-type: none">・校外学習の事前学習や経験により、あいさつ、道をゆずる、お年寄りに座席をゆずることが自然にできるようになった。・現場実習先で、集中力や態度等が生かされている。「ちょっとよろしいですか」「～と思うのですが、これでよろしいでしょうか」等、自分なりに言い方を考えてコミュニケーションでき、褒められた。保護者も驚かれた。・校外学習での公共交通機関の利用等により、友達同士の行動が増えるなど学校外での行動範囲が広がっている。・コミュニケーションの学習により、店で「ありがとう」とお礼が言えるようになった。	<p>《家庭で生かされている》</p> <ul style="list-style-type: none">・調理活動により、家庭でもチャレンジすることが増えた。保護者も意図的にさせるようになった。・校外学習に向けたパソコンでの調べ学習により、家庭でも、自分が行ってみたい場所への行き方を調べるようになった。・家庭でも季節にちなんだ取組をされ、楽しみにできるようになった。・コミュニケーションの力が家庭でも伸びている。・食事、ボタンはめ、排泄の自立につながる取組が、家庭や外出先で生かせ、生活が楽になった。
<p>《全般的な生きる力につながっている》</p> <ul style="list-style-type: none">・実演販売で、自信をもって地域や保護者の方々に説明販売でき、また、評価を得たことが自信につながっている。・生徒同士のペア活動が、役割への自信、友達同士の信頼関係、もっと仲良くなりたい思いが高まり、コミュニケーションの力につながっている。	

「基礎的な学習の時間」で学んだことが他の学習で発揮できたり、つながったと感じられる事例

《他の学習につながっている》

- ・メモの練習により、作業学習でもメモを取るようになった。
- ・氏名・住所、漢字等文字の練習が、申込書や履歴書への表記、作業日誌、生活単元学習での新聞記事、ポスター制作、連絡帳記入の際の使用につながっている。
- ・漢字検定が、自信につながり、非常に意欲的で達成感につながっている。学校外での「受験」の経験は貴重であり、保護者の喜びともなった。
- ・友達の名前の学習により、出欠カードが正確につけられ、友達の予定も含めた見通しがもてるようになった。
- ・数量や計算の学習により、作業学習での製品の個数や計算を、指示がなくても自主的にするようになり機会も増えている。
- ・数の取組が、給食の食器準備にも生かされたり、黒板の時間割表に自主的に書きたがるようになった。
- ・足し算の学習を、クラスのゲームで『計算名人』として生かすことにより、自信につながられた。
- ・生き物の名前学習が、校外学習（水族館）での意欲につながった。



《家庭につながっている》

- ・お金の学習により、複数個の買い物が正確にできるなど家庭での買い物の幅が広がった。
- ・紐結びの練習により、紐靴を家庭でも購入した。
- ・家庭で取り組んでいることを学校でも取り入れ、また家庭で繰り返すなど、連携して行うことで、より重ねた学びとなっている。
- ・ひらがな練習により、家庭で初めて「ママ」と書いて母親に渡した。



《生活全般につながっている》

- ・数の学習により、待つことが苦手な生徒が順番を守ったり友達の活動にも注目できるようになった。
- ・課題に対して消極的だった生徒が、「ここはわかる」という姿勢で臨み、考えようと努力するようになっていく。
- ・国語・数学が苦手な生徒が、実生活を題材に取り組んだり、また自分なりの解き方が分かることで、学習全体への意欲が高まっている。
- ・時計の学習により、休憩時間に自分でタイマーをセットしたり、先生に「あと何分か教えて」と伝えるなど意識するようになった。いつでもどこでも見通しがもてる。
- ・発達の遅い生徒にとっては、係活動や友達とのコミュニケーションや物の受け渡しなど日常生活での取組全てにつながっている。
- ・身体を動かすことは肥満防止にもつながる。
- ・追視ができるようになり、ペープサートや友達・先生をしっかり見ることに繋がっているようだ。

高等部くらし職業コース1年の学習教材より

レシートを読みとりましょう

問題○レシートから読み取りましょう

① 店の名前は何ですか？

② 買った物とした日はいつですか？

③ 店に連絡したいと思えます。電話番号は何番ですか？

④ 買った商品名と個数と金額を別にまとめましょう。

商品名	単価	個数	金額

⑤ 合計金額はいくらですか？

⑥ 変換いのとき、いくら払いましたか？

⑦ お釣りはいくらでしたか？

スーパー タケモト

<情報欄>

宇治店

京都府宇治市広野町
電話 0774-71-0709
2016年12月22日

チョコスナック
45 4個 180
アーモンドキャラメル
80 2個 160
ウーロン茶
150 3個 450
合計 790
(消費税 ¥20) 810
点数 9個

上記正に購入いたしました

お預り ¥1000

お釣 ¥210

練習) 次の流れで待ち合わせをします。

() に時刻を入れましょう



(:) に家を出る

↓ 駅まで 徒歩 歩く



(:) の電車に乗る

乗っている時間は 17分

↓ 降りてから 徒歩 歩く



↓ 0時30分に待ち合わせ場所に到着!

余裕のある計画を立てましょう! ただし、早すぎるのは×

実際は 駅やバス停で 待ち時間もあります。

4 評価の取組

本校では、こうした本校の特徴的な教育活動が自分達だけの評価で終わらないように、卒業生の姿や保護者の声、在校生の意見等を積極的に聞き取り、教育活動に反映させるための取組を進めてきました。

(1) 卒業生等へのアンケート調査について

評価者：宇治支援学校卒業生 11 名、卒業生保護者 7 名、卒業後進路先事業所 7 ヶ所

方法：電話、来校、訪問にて聞き取り

項目：在校中の取組で、現在の生活に役立っていることは何か

在校中に、身に付けておいて欲しいことは何か

【評価結果】

○在学中に身に付いた力で卒業後に役立っていることについて

ア 卒業生

- ・ランニングの成果で、立ち仕事や暑さに負けない体力が付いたこと。
- ・ビルメンテナンスで、汚れを徹底的に磨いたこと。
- ・「できました」「教えてください」と伝えて、問題解決をするコミュニケーション方法を学んだこと。

イ 卒業生保護者

- ・自主通学ができるようになったこと。
- ・朝に走るなどの取組から、体力が付いたこと。
- ・何もできないと考えていたが、学ぶ中で「働ける」という考えに変わっていった。
- ・自分が行きたい事業所を決めることができたこと。

ウ 卒業後進路先事業所

- ・幼少期から「人が好き」という気持ちを育ててもらってきていることで、支援員を介さずとも、他の先輩利用者の方にも自らかかわれている。
- ・「目的をもって活動に参加する」ことや「みんなを待つ」「挨拶をする」ということは、在学中に本人の成長に合わせて諦めずに指導されてきたからこそ、今も成長を続けておられると感じる。
- ・誰にでも敬語が使えるので、人間関係が良好です。基本だけど、とても重要です。
- ・「好きなこと」を引き継ぐことで、そこから活動を広げることができている。「好きなこと」をもっている方は、強い。「好き」を増やしてほしい。



○在校中に、身に付けておいてほしいことなどについて

ア 卒業生保護者

- ・ 重度重複の生徒は在学中は小集団だが、卒業すると大勢の中での日中活動になる。より大勢での集団で学ぶ機会がほしかった。
- ・ 言葉遣い（敬語）を身に付けてほしい。
- ・ アナログ時計が分かる、お金の大切さなど、使える力を付けてほしい。
- ・ 「社会人として見られる」ということを、意識させてほしい。
- ・ 在学中は、自分の子どもが中心だったが、今は広く見える。社会に出たら、学力よりも仲間を大切にすることが大切だと感じている。そのためにも、あいさつ、人間関係を大事にすることや、仕事に対する意欲を育ててほしい。

イ 卒業後進路先事業所

- ・ 体力は必要です。
- ・ 「自分をもつ」ことが重要。自分が出せるように。自分の意思を伝える力をはぐくんでほしいです。意見を求めたときに「(自分の意志が)分からない」ことが一番困ります。

(2) 在校生へのアンケート調査について

今年度、新たに設定した「基礎的な学習の時間」について、実際に生徒が学んだ内容を生活の場面で生かしていると感じているかどうか、アンケートを実施しました。

評価者： 宇治支援学校高等部くらし職業コース1年生、2年生、3年生 計35名

方法： アンケート

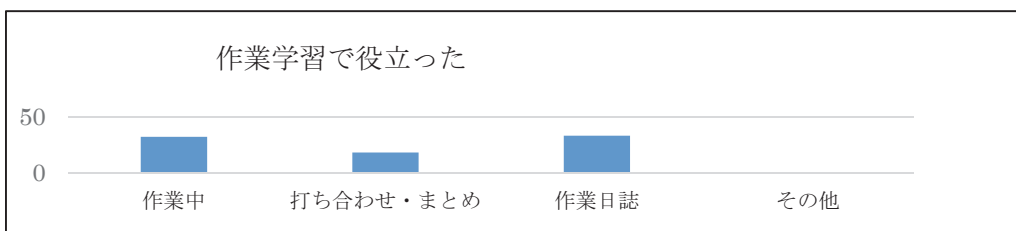
内容： アンケート冒頭に『基礎的な学習の時間』では、学んだことを授業や生活の中で役立てるために勉強しています。」と明記し、チェック方式で実施

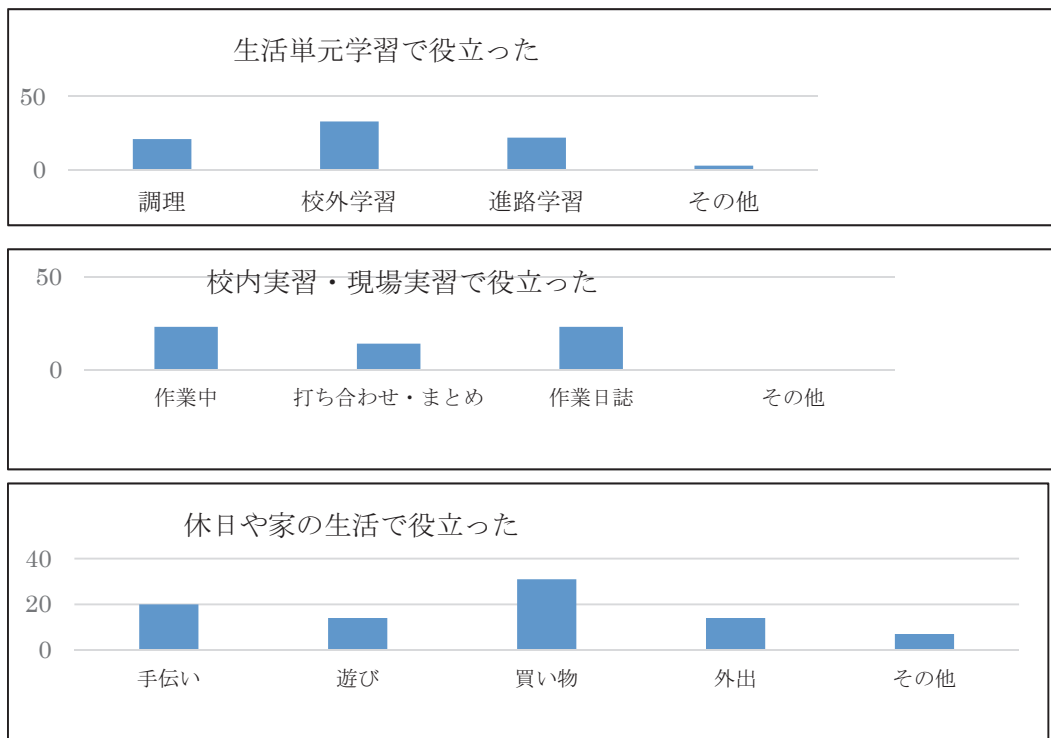
<設問例>

「漢字テスト」で覚えた漢字の読み方や書き方は、次のどの場面で役立ちましたか？（複数回答可）

- 作業学習で役立った（ 作業中 打合せ・まとめ 作業日誌）
- 生活単元学習で役立った（ 調理 校外学習 進路学習）
- 校内実習で役立った（ 作業中 打合せ・まとめ 作業日誌）
- 休日や、家の生活で役立った（ 手伝い 遊び 買い物 外出）
- わからない

【評価結果】 *数字は回答数 *複数回答あり





※その他（住所を書くとき、宿題、料理、話の中で）

・役立ったかわからない（12）

（3）アンケート調査の結果から

くらし職業コース生徒へのアンケート結果からは、「基礎的な学習の時間」が、他の学習活動の中で生かすことができ、そのことから生徒一人一人の生活の豊かさの実現に向けた学習となっていることが伺えます。

また、卒業生やその保護者のみならず、卒業後の進路先の方からいただいた意見等からは、卒業後に「生きてくる力」とは何であるのかを感じることができました。

その中でも、とりわけ以下の二点は、全ての児童生徒の卒業後に生きる力として共通するものであると考えられます。

一つ目は、自らの意志をしっかり持ち、そして、それを伝えられる力です。「好き」「きらい」「やりたい」「やりたくない」という意志を自覚し、他者に伝えられる力です。進路先を決めるときに「働きたい」と感じているか、家に帰って「疲れた」と伝えられるか、事業所で「もっとこんなことがしたい」「じつはこれに困っている」「これが好き」と伝えられるか。方法は、音声言語でも、手話でも、目線でも、表情でも、どのような手法でも問題ありません。まず、自らの意志を確認し、相手に伝えることが、その人の豊かな生活を作り出す一歩ではないでしょうか。

二つ目は、「人が好き」であることです。「コミュニケーションの力」の出発点は、まず「人が好き」なことであり、コミュニケーションスキルを活用する力はその上にある

ものです。言葉が話せるか、文字が読めるかだけではなく、むしろそれ以上に、「伝えたい」「知りたい」「かかわりたい」という思いが、様々な集団の中でも自分らしく生き生きと過ごせる生活へとつながっていく出発点です。

人間は、学校卒業後にも様々な成長を遂げていきます。在学中に付けてきた力が、卒業後も多くの人とのつながりの中で人として成長し続ける自信となることを願っています。

《後輩の皆さんへ》

「何でも頑張れば、その練習の
成果は発揮できると思います。」

